

## 立川市第4次文化振興計画 令和3年度の主な取組状況

(令和4年7月1日現在)

### I ふれる、たのしむ～暮らしの中に文化芸術を感じることでできる環境をつくる～

市民の文化活動が活発化し、継続できる環境づくりを進めるとともに、鑑賞者として、暮らしの中で自然の文化芸術に触れ、楽しむことができるよう取り組みます。

#### 1. 文化芸術の活動やイベントの充実

##### ①市民の文化芸術活動支援 【重点取組事項】

###### ■市民文化祭

・長い歴史を有する文化協会が立川市民文化祭として、例年10月から3月にかけて開催しております。令和3年度は令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、各地区文化会や文化団体の多くの事業が中止となりました。しかしながら文化協会全体の「市民文化フェスティバル」(11/7(日)バレエ・11/13(土)～14(日)展覧会)は開催することができました。展覧会は感染症拡大防止対策としてムービーでの作品紹介展示を中心としたものとし、当日の入場者数をおさえ、その代わりYouTubeでの動画配信やたましんRISURUホールロビーのモニターでの放映を行い、コロナ禍でも開催できるよう工夫をしました。

###### ■地域学習館まつり

・例年、5月から3月にかけて、社会教育関係団体等の発表・交流の場として、6館の地域学習館で「地域学習館まつり」を開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度に引き続き錦学習館のみの開催となりました。

###### ■アール・ブリュット立川

・令和2年度より延期となっていた、東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせ、文化プログラムのひとつとして行う昭和記念公園花みどり文化センターでの作品展「アール・ブリュット in 昭和記念公園」(6/5(土)～28(月))を開催しました。  
また、高松学習館(9/1(水)～14(火))、立川タクロス mini ギャラリー(9/2(木)～15(水))で、展示やワークショップを行いました。

1/17（月）からは株式会社立飛リアルエステートの高さ 2.7m、長さ 180mの壁に 2 年計画で絵を描くウォールペイントプロジェクト「ドリームロード」も始まりました。

#### ■Tokyo Tokyo FESTIVAL との連携

「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の助成事業として、令和 2 年度に延期となっていた「アール・ブリュット in 昭和記念公園」が助成を受けることができました。同じく延期となっていた「いったい音楽まつり」につきましては令和 3 年度の指定の期間内に事業を行えなかったため助成を受けることはできませんでした。

- ・Tokyo Tokyo FESTIVAL の中核を彩る事業として東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団が実施している「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13」の中の 1 事業である「DANCE TRUCK TOKYO」の開催地として立川市が選ばれました。新型コロナウイルス感染症の影響により令和 2 年度の開催は出来ませんでしたが、令和 3 年 4 月 9 日（金）にサンサンロードにて開催されました。

## ②文化芸術イベントの開催

#### ■立川いったい音楽まつり

- ・市民主体の実行委員会形式による第 10 回立川いったい音楽祭りについては、5/22（土）、23（日）に開催予定（参加団体：140 団体）でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。代わりに第 11 回に向け「立川いったいプレ音楽まつり」として 1 日のみ緑町公園で開催、出演は 13 団体で来場者は約 200 人でした。

#### ■立川市民オペラ

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、オペラ本公演ではなく、立川市民オペラ 2022 スペシャルガラコンサートを 3/20（日）・21（月・祝）に行いました。過去立川市民オペラ 30 年の歴史の中で出演していただいたソリストを迎え、オペラの中でも人気のアリアやアンサンブルを歌っていただきました。来場者は 2 日合わせて 690 人でした（ホールの収容人員は定員の 50%以下で実施）。

#### ■立川市地域文化振興財団の鑑賞事業・普及事業

- ・財団が、たましん RISURU ホールや女性総合センターアイムホールで、クラシックやポピュラー音楽、落語やミュージカルなどの公演を行いました。

### ■立川シアタープロジェクト

- ・市は、財団、NPO 法人アートネットワーク・ジャパン（たちかわ創造舎）と実行委員会形式により、地域の劇場文化の活性化や人材育成及び立川からの演劇文化の発信を目指し、平成 28 年度に「立川シアタープロジェクト」を立ち上げました。

令和 3 年度は、昨年度中止となったクリスマスシーズンに演劇を市民に届ける「子どもとおとなが一緒に楽しむ舞台」を開催する事ができました。感染症対策として観客をホール定員の半数に絞るなどありましたが、12/24（金）～26（日）にたましん RISURU ホールの小ホールにて、演目「ピノッキオの冒険」を 5 公演行いました。来場者は 529 人（大人 309 人、子ども 220 人）でした。

- ・7/23（金・祝）、11/21（日）、2/12（土）にたましん RISURU ホール小ホールや展示室で「あちこちシアター」を開催しました。来場者は 3 回で 149 人（大人 97 人・子ども 52 人）でした。また、プロの演出家や俳優の指導のもと子ども達が演劇を体験できるワークショップ「子ども未来エンゲキ部」について、令和 3 年度は「子どもとおとなが一緒に楽しむ舞台～ピノッキオの冒険～」で実際に使用する舞台美術のアクリルハウスに絵を描く「舞台美術ワークショップ」（12/4（土）、12/5（日）で計 4 回）と、演劇的なダンスを創作し成果発表を行う「ダンス編」（1/29（土）～2/11（金・祝）、成果発表は 2/12（土））の 2 種類をを開催し、20 人（舞台美術ワークショップ 15 人、ダンス編 5 人）の参加がありました。子どもたちが演劇を通して自己表現力等を高めること等に寄与しました。

## 2. 文化芸術の活動や発表の場の充実

### ①市内公共施設や公共スペースの活用

#### ■公共スペースの活用

- ・財団が、女性総合センターアイムでのコンサートや、市役所ロビーや学習館などを活用して、ロビーコンサートや「どこでもステージ」として落語会やコンサートなどを企画しておりましたが、コロナ禍のため多くの事業が中止となってしまいました。

#### ■旧多摩川小学校

- ・旧多摩川小学校有効活用事業につきましては、平成 27 年度から「たちかわ創造舎」が、「インキュベーション・センター事業」「フィルムコミッション事業」「サイクル・ステーション事業」とともに、「コミュニティ・デザイン事業」として演劇など多様な

文化創造活動を展開してきましたが、5年間の契約期間が令和2年度で満了し、第二期（令和3.4～8.3）について本委員会でもご意見を伺い、引き続き「たちかわ創造舎」と基本協定等を更新いたしました。

- ・ ほうかごシアターとして、原則、月1回平日夕方に、大人も子どもも楽しめる「よみしばい」の上演（30分程度）や、映画上映、ワークショップを行いました。11/13（土）の美術ワークショップでは自分の好きなものを描くワークショップを行い、描かれた作品は立川シアタープロジェクトのあちこちシアター「大きな周一」（11/21（日））の舞台美術として使用されました。通常の「よみしばい」だけではなく、感染症対策としての映画上映や、他事業との連携など新たな試みも行いました。

#### ■子ども未来センター

- ・ 子ども未来センターでは、指定管理者と石田倉庫のアーティストが連携して、「子ども未来センター美術部 美術部長はアーティスト」を10月・2月に実施しました。また、「カッティングシートで子ども未来センターを飾っちゃおう」を6月・10月・2月に行いました。その他にも、「まんが絵の描き方教室」、「ヴァイオリン・グループ・レッスン」、「演劇ワークショップ」など計61回の文化芸術講座を開催しました。

## ②民間施設の文化芸術活動への活用推進

#### ■サンクタス立川ギャラリー

- ・ 緑町にあるマンション「サンクタス立川」の西側壁スペースを、管理組合の協力を得て、ギャラリーとして無料貸し出ししています。令和3年度は申請がありませんでした。

＊令和３年度の成果指標については、令和２年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントの開催制限や公共施設の休業要請や収容定員及び時間制限等により、数値が減少している状況となっています。

成果指標	基準値 平成 25 年度末	計画策定時 平成 30 年度末	令和 3 年度末	目標値 令和 6 年度末
日ごろから文化芸術に触れる機会があると思う市民の割合	38.4%	46.1%	44.5%	52.0%
財団が展開する文化芸術事業への来場者数	47,500 人※	73,640 人	37,628 人	81,000 人
たましん RISURU ホールと子ども未来センターの来場者数	701,044 人※	793,211 人	373,521 人	830,000 人
市民文化祭、地域学習館まつり来場者数	30,807 人	29,031 人	5,357 人	35,000 人

※平成 26 年度の値を使用（平成 25 年度はたましん RISURU ホールの休館期間があったため）

## Ⅱ はぐくむ、ささえる～子どもや若者の感性を育む、アーティストを支援する～

だれもが文化芸術に触れる場や機会を充実させるとともに、アーティストやボランティアなど文化芸術活動のづくり手や支え手の人材育成・支援に取り組みます。

### 1. だれもが文化芸術に触れる機会の創出

#### ①子ども対象文化芸術事業の充実

##### ■小学校ファーレ立川アート鑑賞教室

- ・財団が、ファーレ立川アート鑑賞教室を実施。市民ボランティア団体のファーレ倶楽部が、市内全小学校の５年生にアート作品を案内しました。

#### ■小・中学校訪問事業等

- ・財団が、小学校訪問事業として、音楽（18校）、落語（17校）、アート（4校）、ダンス（5校）のプログラムを実施するとともに、小学生吹奏楽クリニックや小学生演劇体験事業を実施しました。（中学生吹奏楽クリニックは新型コロナウイルス感染症の影響により中止）。

#### ■キッズ・ワークショップ等

- ・財団が、音楽や工作など3事業の子ども向けワークショップを実施しました。

### ②学生・若者・障害者等の文化芸術活動への参加促進 【重点取組事項】

#### ■国立音楽大学との協定による各種事業

- ・学生の文化芸術活動支援や市民への文化芸術に触れる機会の創出等のため、市と連携協定を締結している国立音楽大学の協力により、同大学の学生やOBによる各種演奏会や小中学校の音楽鑑賞教室、講演会などの事業を行いました。

#### ■アール・ブリュット立川（再掲）

- ・障害のある人もない人も共に暮らしやすい立川を理念に掲げて活動しているアール・ブリュット立川実行委員会への支援を行いました。

また、文化振興推進委員会の委員として施策に対する意見等を反映していくため、令和元年からアール・ブリュット作家にも参加いただいております。

## 2. 文化芸術の担い手の支援

### ①文化芸術に関わるボランティアの育成

#### ■文化芸術のまちづくり協議会実施講座

- ・文化芸術のまちづくり協議会が、アートを応援して支える市民を育てる「アート・サポーター養成講座」を実施。令和3年度は「文化芸術を書いて応援！」をテーマに市民ライター養成講座を行いました。全4回の講座を行い、15名の方が記事作成の方法などを学び、令和4年度からは新たに4名の方がボランティアとして登録される予定となっています。

## ②アーティスト活動の支援

### ■たちかわ創造舎のインキュベーション・センター事業

- ・たちかわ創造舎のシェア・オフィスには、3団体・1個人が入居し、校舎を利用しての体験型演劇や市内各所での野外劇、中高生対象の演劇ワークショップ、チョークアートワークショップなど、地域の中での活動を進めています。

### ■多摩フレッシュ音楽コンサート

- ・東京多摩公立文化施設協議会主催の「多摩フレッシュ音楽コンサート」を財団が実施。声楽部門とピアノ部門の受賞者のために、ソロリサイタルの機会を提供しました。

### ■文化芸術のまちづくり事業補助金

- ・令和3年度は8団体が文化芸術のまちづくり事業補助金・奨励金の交付対象となり、実際に事業を実施、もしくは実施準備までの経費に対し交付を行いました。
- ・令和3年度は上記補助金に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、市内で活躍しているが活動を自粛又は縮小せざるを得なくなった文化芸術活動を行っている市民団体に対し、下支えとしての支援「文化芸術活動臨時支援金」の交付を行い93団体に支援いたしました。

### ■アート・マーケット

- ・クラフトアート作家に発表と販売の機会を提供するため、財団がたましん RISURU ホールロビーにおいて開催していましたが、令和3年度は中止となりました。

### ■市役所ロビーコンサート・水曜コンサート

- ・財団が実施する、たましん RISURU ホールの水曜コンサートに国立音楽大学の学生や若手アーティストに出演していただきました。市役所ロビーコンサートは中止となりました。

成果指標	基準値 平成 25 年度末	計画策定時 平成 30 年度末	令和 3 年度末	目標値 令和 6 年度末
財団が展開する子ども対象事業と子ども未来センターの文化芸術支援事業の参加者数	2,999 人※	9,012 人	7,129 人	10,000 人
文化芸術活動ボランティア登録者数	101 人	139 人	149 人	160 人
財団が展開する事業のうち学生による公演数（累計）	35 回	145 回	164 回	260 回
文化芸術のまちづくり補助金補助対象事業数（累計）	36 事業	65 事業	85 事業	100 事業

※平成 26 年度の値を使用（平成 25 年度はたましん RISURU ホールの休館期間があったため）

### Ⅲ つたえる、とどける～文化芸術の意義を伝えていく～

文化芸術活動の継続的発展やまちの魅力向上を目指し、文化芸術に関する情報の積極的な発信、文化財保存や伝統文化の継承支援等に取り組みます。

#### 1. 文化芸術を活用し、広く発信する取組

##### ①文化芸術資源を生かしたシティプロモーションの展開

##### ■ファール立川アート保全・活用事業

- ・街区のビル所有者や市民団体のファール倶楽部、市などで構成するファール立川アート管理委員会が、「ファール立川アート 保全・活用方針」（平成 28 年 3 月）に基づき作品の維持・保全を行い、市民ボランティアのファール倶楽部による清掃等も行われました。
- ・ファール立川アートのブランド価値の向上や国内外への情報発信等を目指し、街区を美術館に見立てた複合イベント「ファール立川 アートミュージアム・デー」を 10/10(日)及び 3/26(土)・27(日)に開催しました。同イベントではトークショーや



屋外演劇、企画展及びアートツアー等を催し、ファーレアートの周知やシティプロモーション等に取り組みました。

その他、海外へ向け英語でオンラインアートツアーを実施したり、ツアー作品案内アプリ「ファーレ立川アートナビ」や多言語のパンフレット、関連グッズなどを活用した周知などに取り組みました。

#### ■立川まんがばーく

- ・指定管理者の特徴的な自主事業である令和3年度の立川まんがばーくの利用者数は、47,036人でした（入場者数・開館時間の制限あり）。新型コロナウイルス感染症の影響により、例年の半数程度となっておりますが、令和2年度と比較すると13,955人の増となりました。

## ②事業者・民間イベント等との連携

#### ■#たちフェスへの参加

- ・立川駅北口に広がる商業施設 GreenSprings と立川 STAGE GARDEN で7月と12月に行われた#たちフェスに財団の仲介で市民オペラ合唱団やジャパンインターナショナルユースバレエが参加。誰もが自由に無料で鑑賞できるイベントに参加し発表の機会となりました。

#### ■立川よいと祭り

- ・立川よいと祭りについては、実行委員会に助成するとともに、協働事務局を財団が担っています。令和3年度は8月の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し中止としました。その代わりとして、来年度に向けてのPR・市民の機運醸成を図るため、市役所多目的プラザにてパネル展を開催しました（2/24（木）～3/2（水））。

## 2. 文化財・伝統文化を伝え、生かす取組

### ①文化財・伝統文化の継承、市史の編さん【重点取組項目】

#### ■市史編さん事業

- ・先史、古代・中世、近世、近代、現代、民俗・地誌の6部会が、巡見や資料の調査・収集、古老や関係者からの聞き取りにあたり、成果として調査報告書「先史編2」、

「先史編3」を刊行し、市役所本庁舎、歴史民俗資料館及び市内一部書店で頒布しております。

- ・事業の周知については、9月と3月に広報紙「たちかわ物語」を発行し、市施設の窓口等に配架するとともに市ホームページに掲載しました。
- ・講演会については、新型コロナウイルス感染症の影響により、会場での開催から動画配信とし、テーマを「大正・昭和の記録にみる立川の暮らし」と題し、立川市動画チャンネルにて配信しました。動画チャンネルでの配信により会場での開催と比べ、多くの方に観ていただくことができました。
- ・4/6（火）～6/25（金）まで、立川タクロス多目的スペースにてパネル展「立川市史編さん事業と公文書」を開催し、市民への周知に努めました。

#### ■歴史民俗資料館・古民家園

- ・歴史民俗資料館・古民家園等で、体験学習会等を13回、企画展等を12回開催しました。また、市民団体との連携事業や出張講座等を10回開催しました。

#### ■伝統文化親子教室事業支援

- ・お囃子や獅子舞などの市民団体11団体に対し、東京都の伝統文化親子教室事業補助金の申請支援をしました。

## ②文化財・市史編さん資料の保存、活用方法の検討

#### ■文化財

- ・文化財の登録・指定、保存のための助成を行うとともに、地域の歴史や伝統文化に触れる機会の充実を図りました。

#### ■市史編さん事業

- ・市史編さんに伴い収集した資料や市民から寄贈された資料の整理や保管、活用及び公開方法について今後検討を進めていきます。

成果指標	基準値 平成 25 年度末	計画策定時 平成 30 年度末	令和 3 年度末	目標値 令和 6 年度末
ファーレ立川アートツアー参加者数※	1,811 人	2,311 人	2,081 人	2,700 人
ファーレ立川アート管理委員会 ホームページアクセス数（年間）	11,619**	31,778	33,040	35,000
立川市地域文化振興財団 ホームページアクセス数（年間）	181,609	149,976	88,091	165,000
歴史民俗資料館収集資料点数	13,119 点	16,589 点	17,988 点	17,200 点

※ファーレ倶楽部が主催するアートツアーの参加者を含む。

※※平成 27 年度の値を使用（平成 27 年度に開設したため）。

## Ⅳ つなげる、ひろげる～文化芸術の波と輪を広げていく～

文化芸術活動の発展を目指し、さまざまな連携とネットワーク化等に取り組みます。

### 1. 文化芸術のネットワークを広げ、つなげる取組

#### ①多様な主体や他の分野との連携・交流の促進

##### ■文化芸術のまちづくり協議会自主事業

- ・市民、文化団体、大学、企業、行政等で構成する文化芸術の支援団体としての立川文化芸術のまちづくり協議会の周知や新たな会員や市民の参加を目指し、協議会発足 10 周年を機に発行した事業紹介パンフレットを増刷し、新たに市の施設等に配架をしました。また、協議会の web サイト「TACHIKAWA BILLBOARD」内に協議会の事業紹介ページを作成し、多様な主体や異分野が連携・交流が促進されるようなプラットフォームづくりに取り組みました。

- ・今後の文化芸術のまちづくり協議会の活動の方向性を探るため、アーツカウンシルの先進事例としてアーツカウンシルしずおか、浜松アーツ&クリエイションへの視察を行いました。

#### ■たちかわ創造舎

- ・たちかわ創造舎では、多摩エリアを中心に文化を担う個人や団体、地域の方々と事業の実施等を通じた連携・交流をおこなっています。

## ②文化芸術に関わる情報のプラットフォームづくり

#### ■文化芸術のまちづくり協議会ホームページ

- ・文化芸術のまちづくり協議会が平成 26 年度に立ち上げたホームページ「TACHIKAWA BILLBOARD」で、アーティストやイベントの情報発信、地元企業の歴史などの紹介を行っています。令和 3 年度はメールマガジン機能を設置し、情報発信の基盤を整えました。

成果指標	基準値 平成 25 年度末	計画策定時 平成 30 年度末	令和 3 年度末	目標値 令和 6 年度末
立川いったい音楽まつり 応募団体数	126 団体	357 団体	288 団体	500 団体
まちづくり協議会 ホームページアクセス数 (年間)	3,411	7,071	10,648	10,000